

人むすびの場 第58回 2013年5月14日

**学校は人がつながる連携の拠点
～「みんな」が関わる教育を
デザインする～**

教育デザイン研究所 代表

玉川大学教師教育リサーチセンター 客員教授

津田塾大学非常勤講師

(株)大智学園経営企画室副室長

新宿区立四谷中学校 前校長 吉田和夫

保護者への最初のプレゼン
平成22年度 第1回(6月24日)
学校説明会 資料

新宿区立四谷中学校
校長 吉田和夫

ようこそ、四谷中学校へ
四谷中学校は新宿区最初の
地域協働学校です！

校長の吉田和夫です。

今年度から四谷中学校の校長になりました。

今年、四谷中は開校して10年目となります。

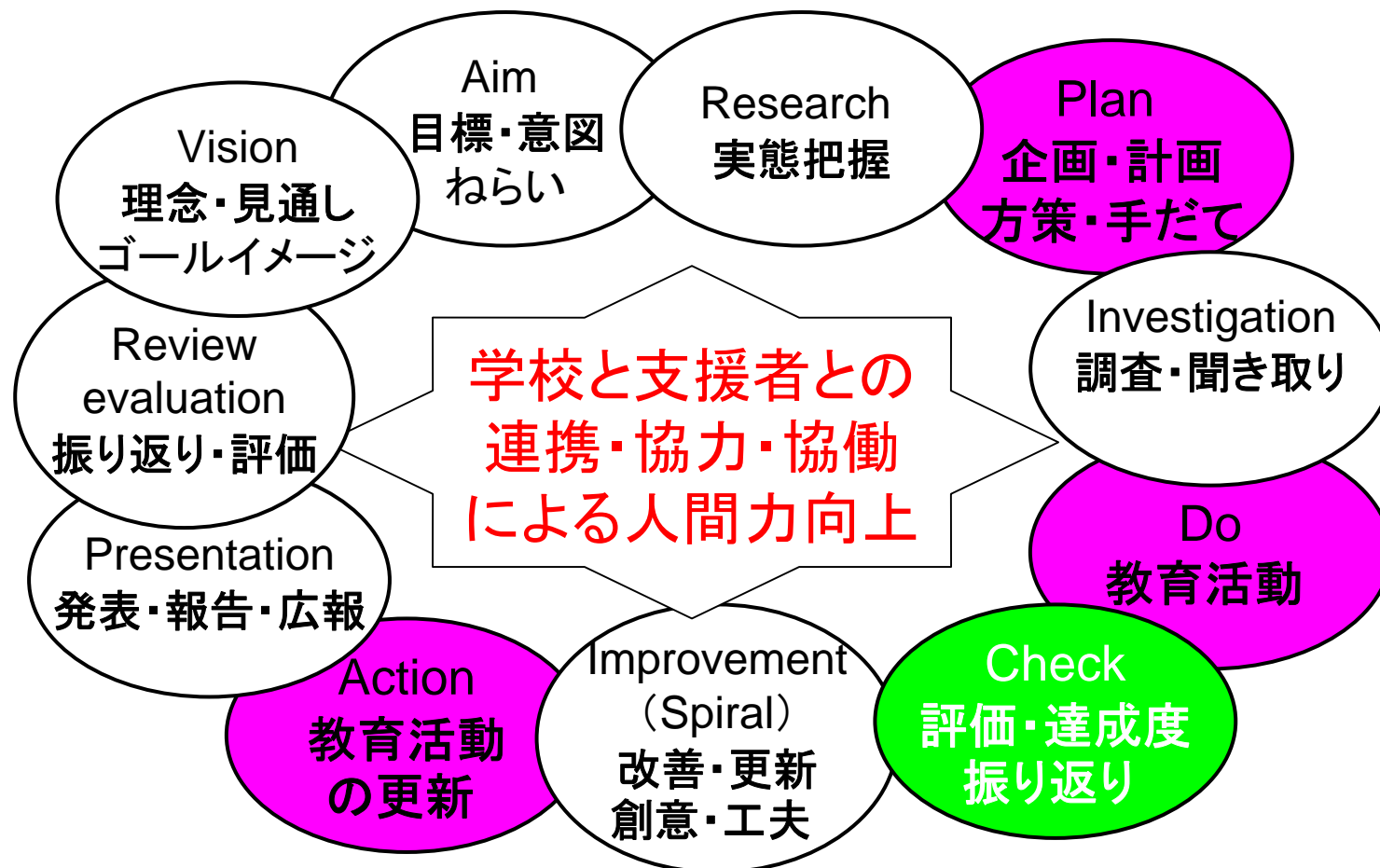
10周年を記念して、様々な取り組みをしています。

四谷地区ただ1校の中学校です。

地域からは3校の小学校から生徒が来ます。

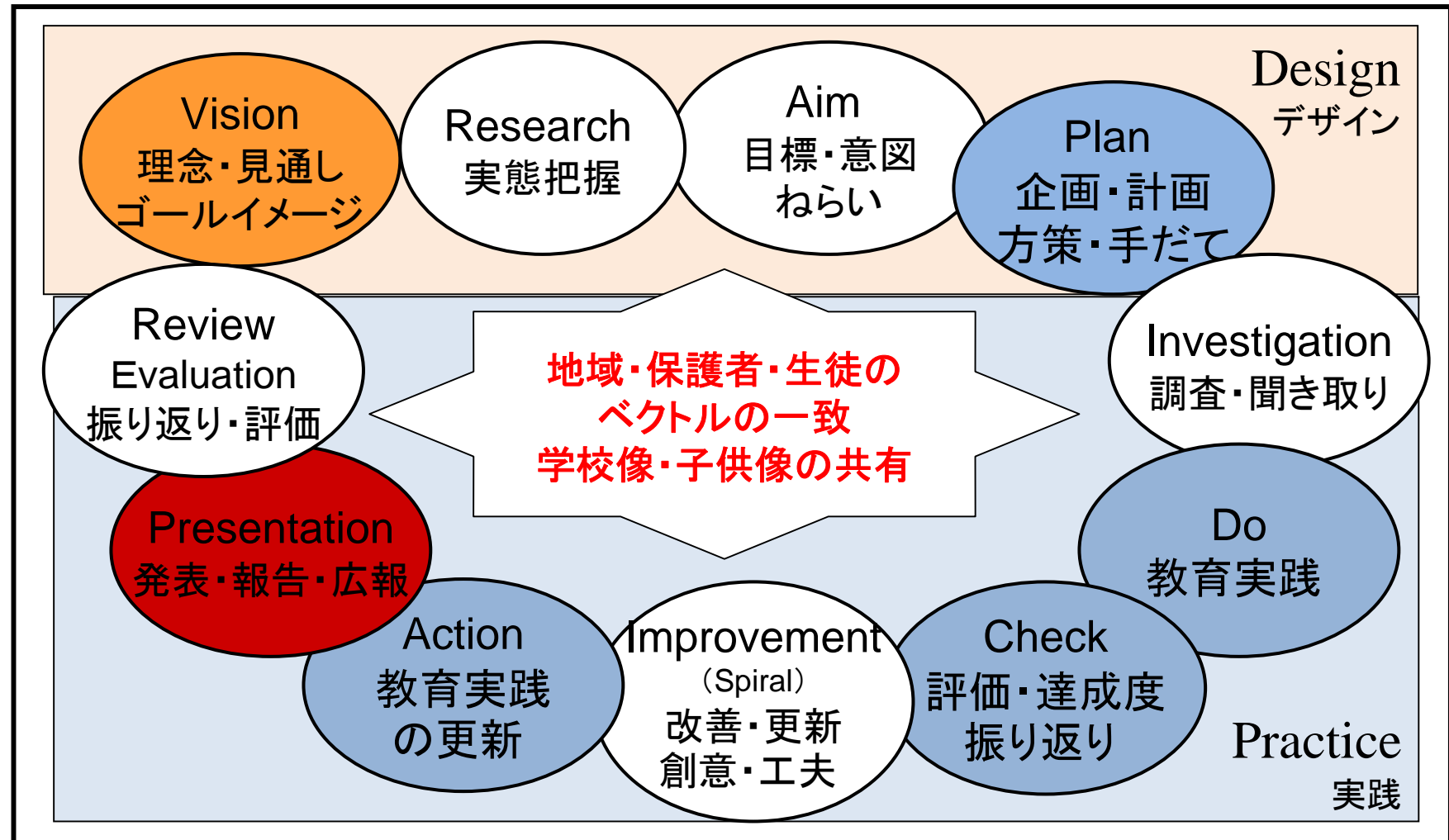
地域に愛され、地域に生きる学校です！！

教育にはビジョンが大事です！



学校及び保護者・地域のベクトルを一致させることが必要です。

教育経営のための新PDCAの活用



学校・プロジェクト分掌・教科・学年・学級・部活動の経営で、このサイクルを活用する。

経営のスローガンは
対話・協働・変革！！ です

① もっと一緒に！

地域・保護者・支援者との連携

② もっと、地域との協働を！

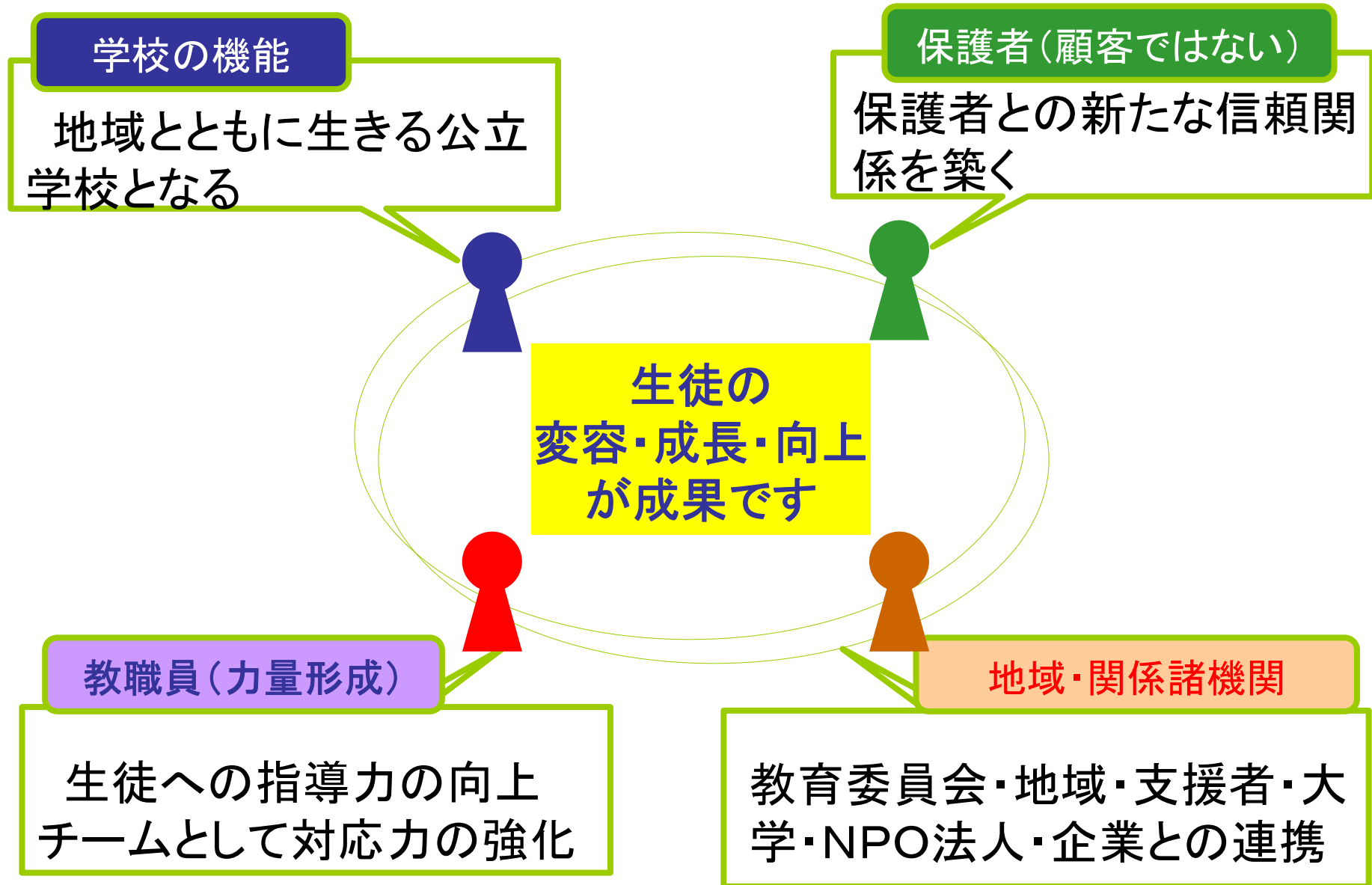
生徒・保護者・教員・地域・支援者で！

③ 学校はみんなが学べる場！

学校は学習するところ

④ 賢い保護者に！

① もっと一緒に！



② もっと地域との協働を！

・地域・保護者は縦の糸

長く変わらずに存在 継続と伝統

保護者こそ、生徒の発達・成長の要

・教職員は横の糸

各教科等の指導 専門性の発揮

・保護者は地域・教職員と協働する

生徒を育てるのが目的 学校は手段

地域は支援者・応援者 資源の活用

③ 学校はみんなが学べる場！

生徒：自覚とプライド
学力と社会性=人間力

教職員：プロ意識
教員としての資質・能力
指導力・授業力

保護者：親学のすすめ
保護者としての力量形成
子どもの自律と責任を育成

生徒の学びの順序

① 授業

↓ (家庭学習の習慣)

② 学校行事

↓ (仲間・友人づくり)

③ 生徒会・委員会

↓ (特別活動 奉仕)

④ 部活動(チームワーク)

(特別活動 趣味)

※ 塾・学校外活動は？

自主性と意欲による

2012.03.10

平成23・24年度新宿区教育委員会研究発表校

平成23年度 中間報告

研究テーマ

学校と地域で生徒の
ライフマネジメント力を高める

対話・協働・変革による学校づくり
つながり・ともに創り・より良く変える

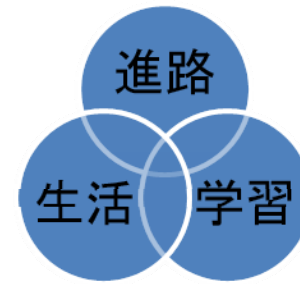


地域協働学校
新宿区立四谷中学校

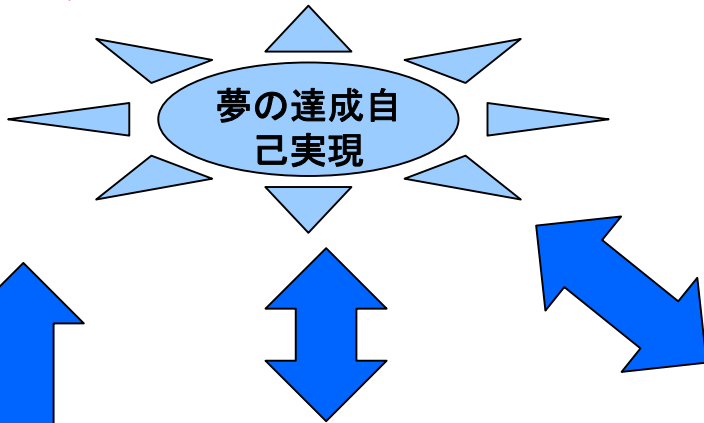
ライフマネジメント力とは何か (生活経営・人生経営の力)

- 自らの人生、自らの生活や学習を、自ら高め、自ら経営していく力
- 学校の育てる「生きる力」の中核 自覚と責任の啓発
- 進路(望み 願い 目的 目標設定)・見通す
- 生活(日々の営み 姿勢・態度の育成)・心がける
- 学習(学ぶことの支援・啓発 学びの場)・向上する
- 進路・生活・学習の相互関係を自覚し、高める
- そのための**プロジェクト型学校経営と各系プロジェクト**

ライフ・マネジメント力の育成



将来への道筋



学習成果

生活と心構え

★自分の夢・未来への展望・将来への思いをもつ

- ・どうすればなれるか ・どのように実現できるか
- ・何が必要か ・資格や条件は何か
- ・そのために何が必要か ・どのような過程か
- ・とりあえず、今何をするか ・次に何をするか
- ・その後はどうするのか

★学ぼうとする姿勢をもつ

(学習を楽しみ実力をつける。)

- ・学習目標を具体的に決める。
(いつまでに何をを目指すか)
- ・計画を立て、それを実行する。
(意志を強くもち、あきらめずに努力する)
- ・結果を振り返り、次に備える。
(反省・評価・次の準備)
 - ・授業を大切にする
 - ・学習習慣を罪につける
(宿題・予習・復習)
- ・予習は分からないことを知ること
- ・復習は学習を振り返ること

★先生とともに楽しい授業を創る

(創意・工夫・改善でより良い授業を)

- ・授業は先生と生徒で創るもの
- ・良い学習集団は良い成績をもたらす
- ・生徒←→先生の間を良くする
- ・皆で面白さを見つけ、それを高める
- ・信頼と敬意のある学習の場にする
(授業でも「あじみそ・マメル」を)
- ・学ぶことへの敬意 ・先生から学ぶ気持ち
- ・よく考え、自分の意見を持ち、表現する
- ・話し合い、教えあいながら学習する
- ・粘り強く・丁寧に・継続して学習する

※ 学習と結びつく学校生活 (心と体の健康 楽しく・明るく・安全・安心な学校生活)

- ・人の話をきちんと聞く(相手を大切にする お互いに話し合える 話して良かったと思える)
- ・授業のルールを守る (チャイム着席・忘れ物をしない・授業を妨害しない・宿題をする)
- ・学校生活のルール・授業のマナー・一人ひとりのモラル (心がけ・心構え) を大事にする
- ・「学びの場」にふさわしい身だしなみ (服装・髪型) しぐさ (姿勢・相手意識・態度)
言葉づかい (場と相手に応じた敬語) (学習の場の緊張感) (学習集団の雰囲気向上)



- 何が実現できるか
- どうすればなれるか
- 今何をするのか
- 次に何をするのか
- 何が必要か
- 資格や条件は何か

- ◇ 人の話をきちんと聞く。
(相手を大切にする・ともに話し合える・話して良かったと思える人間関係)
- ◇ 授業のルールを守る。
(チャイム着席を守る・忘れ物をしない・授業を大事にする・宿題をするなど)
- ◇ 学校生活のルール・授業のマナー、人としてのモラル(心がけ・心構え)を大切にすること。
- ◇ 「学びの場」にふさわしい身だしなみ(服装・髪型)、しぐさ(姿勢・相手意識・態度)を意識すること。
- ◇ 場・相手・状況に応じた言葉づかい。
- ◇ 学習の場の緊張感・学習集団の雰囲気としての学習習慣の定着。

- ◇ 授業は先生と生徒で創る。
 - ◇ 良い学習集団は良い成果をもたらす。
 - ◇ 生徒と先生の間を良くする。
 - ◇ 皆で面白さを見つけ、それを高める。
 - ◇ 信頼と敬意のある学習の場にする。
 - ◇ 先生から学ぶ気持ち、敬意が大事。
 - ◇ よく考え、自分の意見を表現する。
 - ◇ 話し合い、教え合いながら学習する。
 - ◇ 粘り強く、丁寧に継続して学習する。
- 学ぼうとする姿勢をもつ**
- ◇ 学習目標をはっきりさせる。
 - ◇ 計画を立て、それを実行する。
 - ◇ 結果を振り返り、次に備える。
 - ◇ 授業を大切にすること。
 - ◇ 学習習慣を身につける。
 - ◇ 予習はわからないことを知るために。
 - ◇ 復習は自分の学習を振り返ることから。

プロジェクトの意義と価値

(目標・課題追求型自律的取り組み)

- 目標や課題の設定
- 成果の追求
- 立場や役割を越えた協働
- 自律的・自発的な取り組み
- ベクトルの一致
- **新マネジメントサイクル**の具体化が可能
- 一人一人の自覚と責任による成果・結果の追求
- 学校分掌組織の自律化とプロジェクト型学校経営の実現

④ 賢い保護者に！

- 学校は「学ぶ場」 生徒も先生も保護者も
- 助け合い、協力し合うと、 $1+2=3$ 以上に
- 学校を中核にした保護者の連携・協働
- 批判しても、何も変わらない。お互い様。
- 自分が変わる方がはるかに効果的！
- 賢い保護者・教師・地域が生徒を育む！
- 保護者・学校・地域は支え合う関係！
- 公立学校はとっても「お得」(にしよう！)

もっと学校を楽しもう！！

- 子育ての時期は短い。子供と孫とは違う！
- 中学生はとっても面白い時期・年齢！！
- あじみそ・マモル(生徒に話しました)を指導中！
- 成績より大切なものは、学ぼうとする意欲！
- 知識・技能も、時に「陳腐化・賞味期限切れ」する！
- 人との出会い、小さな偶然が人生を変える！
- 人を排除しない、人を大事にする、仲間をつくる！
これによって、人財、人との関係が生まれる。
- 進路指導は「どこで」より「何を」を重視したい！
- もっと学校をみんなで楽しみましょう！！

四谷中の何が変わったか 変化の具体

- 運営協議会と学校の3プロジェクトが一体化
- 運営協議の重点
 - 一斉会議から課題解決型グループ協議へ
- 学識経験者の役割
指導から支援へ
- 学校応援団の発足
- 地域防災活動の推進（地域と学校との協働 セーフティ教室との連携強化 授業内容の変化）
- 学校運営協議会メンバーと生徒会役員との協議
- 生徒会活動の活性化
自分たちの学校・地域の学校・地域の人としての意識向上（四谷学実践）
- 読書活動推進
 - 四谷図書館との連携
 - 図書館空間デザイン実施（地域・外部支援者協働）
- 道徳授業地区公開講座
地域の人との授業で協働

対話・協働・変革 による教育経営と能力開発を目指して

- 学校だけが子どもの教育を独占しない
- 選ばれる学校ではなく、創り上げる学校へ
- 教員の仕事の変容と課題 外部の支援と協働
- 新しい「ステークホルダー(Stakeholder)」
- 「不易と流行」の見定め(教育の本質?)
- 新しい教師教育・管理職教育・保護者対応
- 校長にはできない仕事
- 協働的に使える研究室・居場所の設置
- 教員や保護者が気楽に相談できる雰囲気

ご協力、ありがとうございました

- 連絡先

教育デザイン研究所（新宿区四谷1-21-13）

<http://www.shinjuku.ed.jp/jh-yotsuya/index.html>

前校長 吉田和夫「対話・協働・変革」の学校づくり

メールアドレス

個人: yoshidak13@goo.jp

玉川大学: yoshidak@adm.tamagawa.ac.jp

おまけ！ 講師自己紹介

- 神奈川・埼玉の教員試験に落ち、東京受験せず千葉県で教員へ
- 茂原市(茂原南中・2年) 船橋市(行田中・6年) から東京へ
- 太田区を断わり、調布市へ(調布五中・6年) 生活指導で苦勞
- 多摩ニュータウン(稲城市)のお菓子の家 稲城五中(7年)へ
- 米国での生活(1ヶ月×6回)とホール・ランゲージの授業体験
- 上越教育大学大学院(日本酒と修論)(埼玉大 戸田功先生)
- 品川区教育委員会(指導主事5年)学校選択制と特色ある学校
- 都教育委員会(指導主事2年)人権とアイデンティティ、中高一貫
- 杉並区(大宮中・3年)W中隣 教頭→副校長 学校選択制の辛酸

- 八王子市(城山中・3年)地域運営学校 学校支援地域本部設置
- 新宿区(四谷中・3年) 地域協働学校 地域・保護者との関係
- 玉川大 津田塾大 埼玉大(免許更新講習) 大智学園 勤務
- 人牛万事塞翁が馬 ピンチはチャンス シンクロニシティ